

平成 29 年度 第 3 回 松戸市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

1. 日時	平成 30 年 3 月 27 日（火） 18 時 30 分～20 時 30 分
2. 場所	松戸市役所 新館 7 階 大会議室
3. 出席者	<p>&lt;委員&gt;（50 音順）21 名          阿部委員、天田委員、石田委員、荻野委員、加藤委員、神谷委員、小林委員、小松委員、坂野委員、佐藤委員、鈴木委員、玉乃井委員、知久委員、寺田委員、奈賀委員、箱田委員、百田委員、平井委員、福田委員、藤原委員、松崎委員</p> <p>&lt;松戸市&gt;          子ども部長、子ども部審議監、子育て支援課、幼児保育課、子ども家庭相談課、子どもわかもの課、障害福祉課、教育企画課、指導課、事務局（子ども政策課）</p>
4. 傍聴者	3 名
5. 次第	<p>1 開会</p> <p>2 松戸市子ども・子育て会議 議題</p> <p>（1）松戸市子ども総合計画の進捗について</p> <p>（2）松戸市子ども総合計画中間年の見直しについて</p> <p>（3）利用定員について</p> <p>（4）松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）（案）について</p> <p>（5）その他</p> <p>3 その他</p>

<要旨>

1 開会

- 平成 29 年第 2 回子ども・子育て会議開催後の意見票について
- 子ども部長挨拶
- 坂野会長挨拶
- 阿部副会長挨拶

2 松戸市子ども・子育て会議

- 会議の成立  
 （事務局）  
 総委員数 25 名、21 名出席（4 名欠席）。  
 「松戸市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項」の規定により、会議の成立を報告。
- 会議の公開  
 （事務局）  
 「松戸市情報公開条例 32 条」の規定により、公開を原則として会議を開催したい。

○議事録の作成と公開

(事務局)

要約による議事録を作成したい。

(坂野会長)

議事録は事前に委員の了解を得た上で公開することです承する。

○本日の傍聴の受け入れ

(事務局)

3名の方から傍聴の申し出あり。

(坂野会長)

入室を許可する。

(1) 松戸市子ども総合計画の進捗について

(坂野会長)

議題1：松戸市子ども総合計画の進捗について、説明をお願いしたい。

(事務局)

「資料1：松戸市子ども総合計画 重点的取組み事項に関する進捗状況」及び「当日配付資料：第5期松戸市障害福祉計画・第1期松戸市障害児福祉計画（案）概要版」をもとに、担当課及び事務局から説明。

(坂野会長)

質疑応答をお願いしたい。

(荻野委員)

障害福祉に関して、現在、複合型児童発達支援の事業所で働いており、その事業所では多くの医療的ケア児を受け入れている。こうした事業所に、近隣住民の方や学生などがボランティアに来てくれたら子どもたちも喜ぶと感じている。

(障害福祉課長)

障害児に関する普及啓発については、昨年度から松戸特別支援学校で医療的ケア児と健常児が接点をもつ子どもフェスタを実施している。今年度もそのフェスタを実施し、医療的ケア児と健常児及びその保護者同士による交流を図っていきたい。

(知久委員)

重点的取組み事項2「認定こども園の推進」について、現在、民間保育園が49施設、認定こども園が5施設ある。民間保育園は、認定こども園についての情報が整って

いないところもあり、今後、認定こども園を推進していくに当たっては、市から具体的な内容を示して欲しいと考えているが、市の考えをお聞きしたい。

(幼児保育課長)

認定こども園の推進は、国の制度として出来たもので、主に幼稚園が認定こども園に移行するという期待をもっていたが、松戸市の幼稚園は既存の幼稚園の教育を大事にするという方針のため、現在は、幼稚園の預かり保育を促進する形で進めている。市としては、0-2 歳児は小規模保育施設の整備での対応、3-5 歳児は幼稚園の預かり保育での対応を考えており、認定こども園が爆発的に増えていくことは想定していない。

(寺田委員)

今の話に関連し、幼稚園は学校教育を大事にしており、所管を文科省であることを大事にしたいと考えている幼稚園が多い現状である。松戸市では、資料5に記載のとおり、松戸市の幼稚園の考えを盛り込んで、市独自の対策をしていただいている。幼稚園教諭確保対策、幼稚園での送迎保育ステーションの導入など、他市では幼稚園のことをここまでは考えていないので、ありがたいと感じている。

(幼児保育課長)

松戸市の小中学生は、音楽や合唱などで、全国大会の金賞を受賞するなど、レベルが高いが、こうしたことも、幼稚園での情操教育や保育園での保育の成果であると思っている。今後もよろしくお願ひしたい。

(神谷委員)

中学生等が色々な活動でいい賞をとったことは市長も話しており、非常に喜ばしいと感じている。その一方、学校の部活やクラブ活動に加わることができない子どもたちの居場所づくり、いわゆる小学校高学年以降の思春期の子どもの居場所づくりについては、市民の皆様からも意見が出ている。子ども総合計画では、児童館を何館作るなど、具体的な目標が示されていたが、資料1「重点的取組み事項4・5」を見ると、「公共施設を中心に児童館機能の整備を検討する」という表記にとどまり、目標の位置づけが変わっている印象がある。その結果、新松戸の交流会館のような、児童館として見ると機能が中途半端な中身になっていくのではと懸念している。現在、松戸市で使われていない公共施設は数多くあり、そのような施設を積極的に児童館に変えていくことは可能であると考えている。そのような検討をしているのか、またこの辺りを明確に書いていない背景をお伺ひしたい。

(子どもわかもの課長)

資料2-2におけるp43をご覧ください。児童館機能の整備については、整備目標

5 か所は変えない方向である。併せて、公共施設の活用については、平成 30 年以降の考えとして、既存の児童館・こども館・青少年会館の連携を積極的に推進することと、公共施設等を活用した新たな中高生の居場所づくりを明記している。子どもの居場所づくりについては、パブリックコメントでも同様のご意見を頂いており、真摯に受け止めて、進めていきたい。

(神谷委員)

もう 1 点、冒険こどもの遊び場事業について、以前、21 世紀の森と広場の施設長と話をした際、都市公園法の関係で、「火が使えない」等という課題があった。その一方、「ラーメンフェスタ」などのイベントでは、実際火を使っている。この矛盾点について、子ども部としてどう考えているか。この件については、他の部門との連携が非常に必要であると感じている。今回の冒険こどもの遊び場事業について、「火の問題」や「テントの使用」など、現在の課題を具体的に検討できるのか、お聞きしたい。

(子どもわかもの課長)

ご指摘いただいた点については、子どもの遊び場の中で許可申請をクリアしながら行っていきたい。また都市公園法の枠組みで、具体的なプログラムを検討する中で、担当課と改めて協議を進めていきたいと考えている。

(神谷委員)

ぜひご検討してほしい。

## (2) 松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて

(坂野会長)

議題 2：松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて、説明をお願いしたい。

(事務局)

「資料 2-1：松戸市子ども総合計画中間年の見直し（案）のパブリックコメント（意見募集）手続の結果について」、「資料 2-2：松戸市子ども総合計画の中間年の見直し（案）」及び「資料 2-3：第 2 期子ども総合計画の策定スケジュールについて」をもとに、事務局から説明。

(坂野会長)

質疑応答をお願いしたい。

特に質疑がないので、松戸市子ども総合計画の中間年における見直しについては、前回会議で承認をいただいております、パブリックコメントの意見を踏まえ、よりわかりやすく修正をしたものと理解する。また、第 2 期の子ども総合計画の策定は来年

度から取り掛かるが、子どもに関する法律や市の事業なども変わってきているので、改めて課題を抽出し、この会議に示していただきたい。その他質疑応答はあるか。

(藤原委員)

先程の、議題 1 での、資料 1・重点的取組み 13 における産後ケア事業の説明に関して、産後は、特に夜が心配であり、その点で宿泊型が好まれると感じている。日帰り型の利用が少ないのは、小さい子どもを抱えての移動が大変なためで、そのあたりのケアも必要である。母子にとっては訪問をしてあげることが大事であり、訪問して、母子の様子がおかしい場合は、継続的な訪問につなげていくことも必要である。また宿泊型だと料金の負担があり、試しに制度を利用出来るなど、利用しやすい仕組みを作っていくことも、事業拡大のうえでは大事であると考えている。

(母子保健担当室長)

日帰り型は病院をケアの場とし、朝、準備をして病院に出向き、日中ケアを受けて、夕方また帰るといふ、少し手間のかかる制度になっていることは認識している。産後ケアの体験や利用料については、今後検討していきたい。

### (3) 松戸市子ども総合計画の中間年の見直しについて

(坂野会長)

議題 3：利用定員について、説明をお願いしたい。

(保育運営担当室課長補佐)

「資料 3-1：特定教育・保育施設の利用定員等について」及び「資料 3-2：地域型保育事業の利用定員等について」をもとに、幼児保育課から説明。

(坂野会長)

質疑応答をお願いしたい。

(寺田委員)

保育施設の利用定員が随分増えており、それだけ利用が求められていると感じている。松戸市に限らず、どの地域でも、保育士確保に苦慮しているが、松戸市はどのような手立てをされているのか、お伺いしたい。

(保育運営担当室課長補佐)

離職防止や新卒保育士確保のため、松戸手当を実施することで、保育の質の確保を図っている。資料 5 の 4 ページに記載のとおり、平成 30 年 4 月からは、就学資金の貸付を実施し、松戸市内から保育士を養成・育成を支援していきたいと考えている。

(寺田委員)

資料5の4ページでは、保育士確保と幼稚園教諭の確保が共に明記されている。幼稚園教諭の確保も難しい状況である。保育士と幼稚園教諭の確保については、その対応策に差があると感じているため、市でも保育士確保と共に、幼稚園教諭の確保についても引き続きご検討いただきたい。

(知久委員)

小規模保育施設が現在61施設とかなり増え、保育士確保は、大変である。特に1歳児の保育需要は今だ高く、今後も小規模保育施設が増えていくと想定される。保育士確保のためには、今回、幼稚園の預かり保育を社会福祉法人が担うという試みがされるが、幼稚園と保育園が連携し、協力していくところは協力していくことが今後必要だと感じている。引き続き、様々な施策の推進をお願いしたい。

(荻野委員)

保育士が不足しているという話が挙がったが、障害児を支援する支援員も不足している現状である。支援員については今後どのようなようになるのか、お伺いしたい。

(障害福祉課長)

障害児の支援員については、増えているとは言い難い現状であるが、4月から共生型サービスという高齢者支援と障害者支援を共生する制度が導入され、そのあたりの制度も含めて検討していく必要があると考えている。保護者からすると、障害支援は、専門の支援員の方にやっていただきたいという声はきくが、支援員についての教育・指導を支援しながら、補っていきたいと考えている。

(石田委員)

松戸の保育士確保のための松戸手当はすごいと思うが、その分おやこ DE 広場の人材が保育園に流れてしまうことも懸念している。松戸市では子育て支援員を養成し対応しているが、子育て支援に携わるという視点をもって、人材の養成・育成の手立てをして欲しいと感じている。

またおやこ DE 広場の利用者からは、保育園に入れてうれしいという声をきくが、保育所に入れないから、働かなければいけないというような、保護者が違う視点で考えている傾向もあり心配している。広い視点で、松戸の子どもをどう育てていきたいを考えて欲しい。

(坂野会長)

本質的な問題提起を頂いた。担当課に限らず、全員で協議し、進めていただきたい。

議題3:利用定員についての議論は終了してよろしいか。「特定教育・保育施設」と「地域型保育事業」については、昨年、国の「子育て安心プラン」において、子育てと仕事の両立をさらに重点的に取り組んでいくことが示されている。今後も社会情勢や市民の声に敏感になり、保育の質・量の両面から、充実させていただきたいと考えている。その他質疑はあるか。

(知久委員)

放課後児童クラブを運営する中で、子育て支援は、保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、中高生の居場所など多岐にわたり、人材の確保のためには、人材育成の視点が非常に重要になってくる。行政と事業者が一体になって取り組めるような環境をつくっていききたい。

- (4) 松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）（案）について  
(坂野会長)

議題4:松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）（案）について、説明をお願いしたい。

(子どもの未来応援担当室長)

「資料4:松戸市子どもの未来応援プラン（松戸市子どもの貧困対策計画）（案）」をもとに説明。

(坂野会長)

質疑応答をお願いしたい。

(箱田委員)

子どもの需要を外さないように取り組んでいただきたい。

- (5) その他

(坂野会長)

本日の議事に関連して、その他、質疑はあるか。

(天田委員)

保護者の声を少し集めたのでこの場をかりてお伝えする。松戸市の「共働き子育てしやすい街ランキング」全国編1位の受賞を知り、保育所の母親にその内容を伝えたところ、多くの保護者は実感がない様子であった。豊島区も同じく東京編1位を受賞しており、池袋に訪問した際に、保護者に雑談の中で「住みやすいか」「東京で1位ですわね」などと声をかけたが、同じような反応であった。住んでいる方に実感がないと

というのは、松戸市でも豊島区でも同じであると感じた。

その他、『保育所は年末 12/28 で終了するが、銀行や外資系の会社は 12/29 も営業日なので、1 部の保育所だけでもやってくれたらうれしい』、『共働きを推進しているが、母子手帳の交付が平日のみなので、取りに行くのが厳しい。草加市は、毎週水曜日に 21 時まで窓口が開設され、母子手帳の交付ができる。』、『松戸市の待機児童ゼロが出た後、松戸市在住の共働き世帯が認可保育所に入れず、母親が都内まで子どもを預けている様子がテレビで放映された』、『松戸市の認可保育所への入園を希望したところ、定員の関係から、遠方の保育園を紹介され、対応済みとされた』などの声があった。また小規模保育施設に努めている保育士から、『小規模保育施設卒園後に、提携している保育園に行けると考えていたが、連携園に通えず、保護者が困ったという事例も出てきている』という声もあった。視点は少し異なるが、『稔台小学校で雨漏りがあり、工事の対応が遅れたので、早い対応をいただきたい』という声もあった。

(佐藤委員)

「共働き子育てしやすい街ランキング全国編 1 位」について、周辺ではプラスの評価が多い。放課後児童クラブが 19 時までやっており、他の自治体の住む職場の仲間からうらやましがられているので継続いただきたいが、資料 1 の 5 ページに記載の、「放課後児童クラブの開所時間の延長」の課題として「延長料金の有無」という文言が記載されており、気になっている。

資料 1 の 27 ページに記載の「松戸子育てフェスティバル」について、チラシや広報では未就学児対象となっているが、実際は 0-3 歳児向けの内容が多く、ミスマッチになっていないか心配している。対象となる子どもの年齢やイベント内容を分かりやすく周知していく工夫も必要であると感じている。同じく、5 月の「こども祭り」、秋の「だいすき松戸！子どもフェスティバル」なども、各イベントの対象や位置付けが分かりづらいという声を聴く。イベント自体は非常によいものなので、分かりやすく周知することで、子育てしやすい街を実感してもらえるきっかけになると感じている。

(坂野会長)

時間の関係上、本日の議事はここで終了とする。今回の議題等について、意見等がある委員においては、意見票の提示をお願いしたい。

#### 4 その他

○松戸市子育て支援 PR 動画第 2 弾「世界一の感謝状」上映

○次回の会議の開催

(事務局)

次回会議は平成 30 年 7 月頃の開催を予定している。詳細は別途ご案内する。